

「中秋の名月」と「月下美人」 1

R2 自然を観察してみよう
R2,10,1(木)

10月1日(火)は「中秋の名月」にあたり、この日は快晴、夜空にはみごとな月が輝いていました。この日、自宅の「月下美人」が花を咲かせ、街灯の明かりが少し邪魔でしたが、月の光に照らされる姿を楽しみました。

●中秋の名月とは？

「中秋の名月」とは旧暦の8月15日に出る月のことで、「十五夜」ともいいます。旧暦の季節は現在とは一ヶ月程ずれていて7、8、9月が秋にあたり、8月は秋の真ん中なので「中秋」と呼びました。実際に大気も澄んで、月が綺麗に見える季節で、ちょうど稲刈りが始まる頃でもあり、五穀豊穡を祈願し、お月さまに団子を供え、自然の実りに感謝をする風習が生まれたようです。



中秋の名月と月下美人

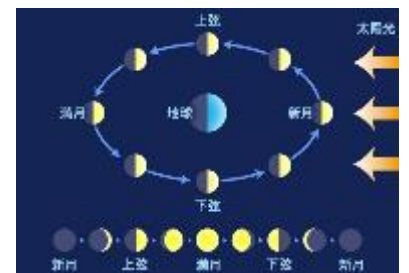
もともと平安時代より、貴族が月を見ながら和歌を詠む「観月の宴(かんげつのおん)」を開いていました。武士の時代になると、松本城の「月見櫓(つきみやぐら)」のように主君を招いてお月見をするために楼閣を建てるなど大々的になり、泰平(世の中が治まり穏やかなこと)な江戸時代では庶民にもお月見の風習が広まったようです。

●令和2年(2020年)の中秋の名月は、満月ではなかった！

旧暦は、月の満ち欠けを基本にした暦で、新月から始まり満月を経てまた新月になるまでを「ひと月」としていましたが、月の満ち欠けの日数は29.5日で、1年は354日となり、そのままにしておくと、実際の季節からどんどんずれてしまうので、江戸時代は数年に一度、「閏月(うるうつき)」をつくり13か月にして、調整していました。今年の10月1日(旧暦8月15日)は実際には満月の一日前で、10月2日が満月です。

●「月齢」とは月の満ち欠け具合を表す方法です。

月の満ち欠けは、新月(真黒な月:月齢0)から始まり、右側から見えるようになり、上限の月(半月:月齢6、南中時に右側が明るい)を過ぎて、15日目で満月(月齢14)となる。右側が欠けていき、下弦の月(半月:月齢22、左側が輝いている)と過ぎて、再び新月となります。



新月が「月齢0」で、2日目が「月齢1」、3日目が「月齢2」となり、15日目が満月で「月齢14」、最大は「月齢29」です。

新聞やカレンダーを見ると、月齢が12.5などと小数点で書かれていますが、満ち欠けは刻一刻とすすんでいくので、発表されているのは、その日の正午0時の月齢で表されているそうです。

※月の満ち欠けは朔望(さくぼう)ともいい、新月を朔(さく) 満月を望(ぼう)とも呼びます。

※三日月とは、新月から三日目くらいの細い月のことです。右側が光っています。

●10月は満月が2回あるよ。

月の満ち欠けは、約29.5日なので、令和2年10月は、2日(金)と31日(土)の2回満月があります。ちなみに31日の月は今年最少の満月だそうです。



R2,10,1 中秋の名月

☐ 何で、地球から見える月の大きさは変わのでしょうか？

☐ 月の模様は何に見える？

子供の頃、月の模様は「うさぎの餅つき」と教わったと思います。外国でも月の模様を色々な形に見ているようです。いくつか例をあげますが、見えますか？

- ①片手のカニ ②ロバ ③つぶれたカエル ④読書(編み物)をする人
- ⑤ライオン ⑥人の横顔 ⑦ワニ ⑧薪を担ぐ人 ⑨水を運ぶ人

☐ 月の模様が常に同じなのは地球に同じ面を向けているからですが、何故そうなる？

【関連する授業】3年 単元4地球と宇宙 3章月と惑星の見え方

【関係する動画】10mini ボックス NHK 月と惑星の満ち欠け

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/bangumi.cgi?das_id=D0005110138_00000

